



こおりまち

議会だより

VOL.

142秋号

令和7年
10月15日発行



桑折町議会ホームページへ

主な内容

9月定例会

9名の議員による一般質問という名の政策提案

議会活動報告

議会報告・意見交換会ご案内

2

12

23

26

70 Koori Town Anniversary 町制施行70周年を記念する事業

奥州こおり宿 楽市楽座 in 山車フェス

令和7年9月28日(日)開催

町に現存する13台の山車が迫力満点の絆の伝統美により奥州・羽州街道の追分として栄えた桑折宿の復活。さらには、東北のうまいもの大集合、さらなる交流・関係人口創出へ

献上桃の郷 桑折町 ホームページアドレス <https://www.town.koori.fukushima.jp>

9月定例会

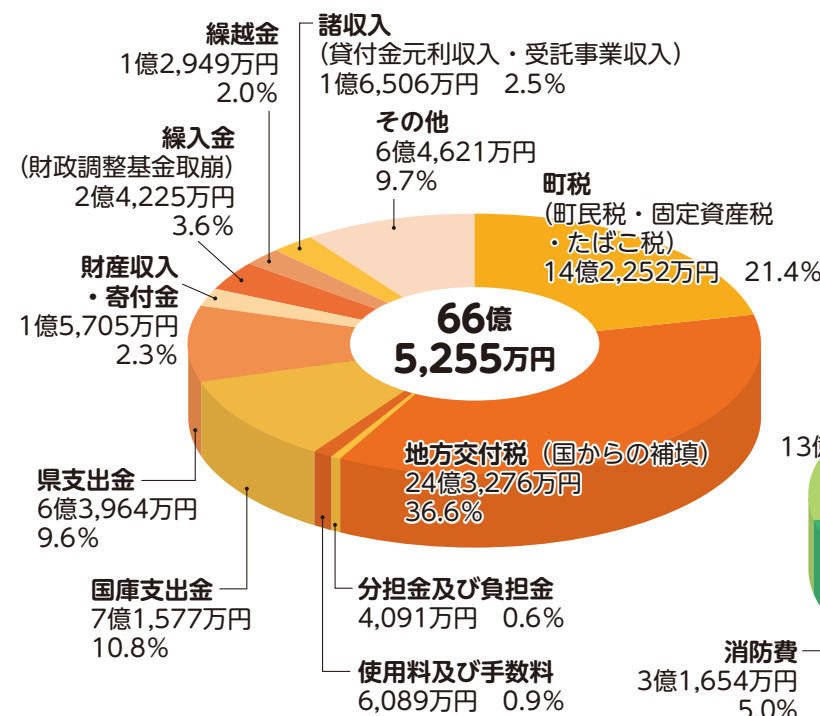
会期: 9月3日(水) ~18日(木) (16日間)

提出議案 審議採決

令和6年度決算認定 (一般会計1件・特別会計6件・条例制定2件・条例改正4件・補正予算2件・未処分利益剰余金処分1件・町道廃止1件・町道認定1件・報告意見・同意2件)

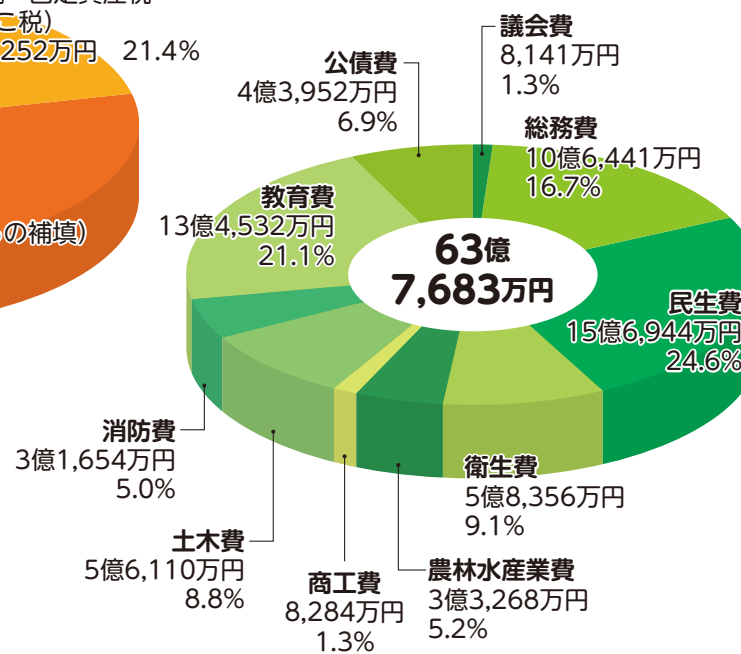
議案第1号 令和6年度 決算 賛成8 反対3 認定

歳入 66億5,255万円



※金額は切り捨てて万円まで
※%は総額に占める構成比

歳出 63億7,683万円



町税一人あたり年次別比較

町民一人あたり総額
令和6年度 130,568円 (3,509円の増加)
(令和5年度 127,059円)

桑折町監査委員 鈴木久頼 一子
令和6年度の桑折町一般会計および国民健康保険特別会計ほか3特別会計並びに水道・下水道事業会計の決算審査が7月23日から8月5日まで実施された。提出された決算関係書類は法令に基づき正確に作成され、帳簿や証拠書類とも符合し誤りのないことを確認した。予算執行も概ね適正であった。水道・下水道事業会計についても決算書や損益計算書等の照合により妥当性が認められ、両会計とも純利益を計上した。財政健全化審査では、健全化判断比率や資金不足比率も適正に作成され、健全性は維持されていた。令和7年には町制施行70周年を迎え、中期基本計画など多くの計画が策定されており、「幸せを実感できる元気なまち」の実現へ一層の創意工夫と効率的な行政運営が求められる。



監査委員報告

決算審査結果

令和6年度 一般会計決算 総括質疑

各議員が議案調査を踏まえ、本会議で議案全体や政策の方向性を総合的に確認及び議論しました。

物価高に苦しむ町民、支援策は

岡本 貴士 議員

問 町長は、令和6年度の町政運営にあって、エネルギー価格や物価高騰が町民生活に深刻な影響を及ぼしていることから、国の地方創生臨時交付金を活用した支援策を、時機を逸することなく実施すると述べている。については、令和6年度に実施した町独自の支援策について、その評価を伺う。

答 国の地方創生臨時交付金を最大限に活用し、低所得者世帯への支援や公共性を有する事業者への支援に加え、介護施設、学校給食、タクシー・運送事業者、農業資材費への補助など、桑折町独自の支援策を展開してきた。これらの取組は、他の自治体になく評価されたものもあり、「桑折町ならではの」支援策として、一定の効果を上げたものと評価している。

ふるさと納税減額の要因と対策は

羽根田ひとみ 議員

問 R5は11,182件213,200千円であったが、R6は6,339件134,545千円と、4,843件78,655千円の減少となった。担当課の分析によれば、要因の一つに福島市のリーズナブルなフルーツへの需要が流れた可能性が高いとされる。ブランド力を重視する姿勢は重要であるが、柔軟な対応も必要ではない

か。桃以外の要因について、対策は考えているのか。

答 福島市は20億円を超える一人勝ちとなり、年間を通して多様なフルーツを提供している。献上桃ブランドのPRが十分でなかった可能性があり、価格を下げるのは困難であるため、今後はPR強化を進めるとともに、工場関係者と連携した商品開発にも取り組んでいく。

学力の高い町にするために

半沢 正保 議員

問 児童生徒の生活習慣確立や学力向上をめざし事業を実施してきたが、その成果の総括と改善すべき点を伺う。具体的には、10年以上続く事業見直し、指導主事、学校司書の増員計画、先進事例(ポジティブ教育等)の調査研究、全事業のKPI設定し検証改善サイクルの強化を。

答 読み・書き・計算の徹底反復により、基礎力を伸ばし、学習意欲の向上してきた。今後AIDドリル等により、個別最適な学びに力を入れるとともに、英語教育を中心に魅力ある教育の町をめざす。

こおり健康楽会の取組は

鈴木 隆志 議員

問 「こおり健康楽会」において「健康測定会」「こおりウォーキングチャレンジ事業」等に、多くの町民が参加し、健康増進に努めたものと考えている。高齢化が進む中、今後において、ますます重要な事業になってくると考える、町長の所見を伺う。

答 こおり健康楽会は、医・学・産・民・官のそれぞれの分野が一体となって、目指すところは、町民の健康維持管理増進達成にある。何もしないでいれば体力が衰えし、高年齢者を町民が意識して、高年齢者だ

けでなく、町民みんなが、自主的にしっかりと健康維持増進に努めて行くことが必要であると考えている。町として町民の意見集約に努めながら、目的達成に向け、今後とも、こおり健康楽会事業の充実強化に努めて行く。

早期の振興整備計画の見直しを

佐藤 武朗 議員

問 農地法は1952年(昭和27年)に制定された。最大の目的は農地改革による「耕作者主義」(農地は耕作する者自身が所有)とのことであった。しかし時代の変化や農業の課題に対応するために繰り返し法改正が行われ、現在に至っている。現実には中山間地では、「有害鳥獣被害」や「担い手の高齢化」により耕作放棄地が拡大している。よって、「桑折町農業振興地域整備計画」(農振農用地の除外等も早急に見直しを行うべきでは。

答 長らく見直しがされていなかったが、令和6年度に「地域計画」を作成、一方で、IC周辺で民間業者が「地域未来投資促進法」による事業計画を進めているが、県に本申請されていない。その見通しがついたら速やかに進めていきたい。

商工振興費と賃借料のバランス

川村 滋道 議員

問 学VIVAの賃借料歳出計上が教育文化課ではなく商工振興費に計上され違和感をもった。若い方々の学習環境が整備されたのに商工振興に計上はなぜか、又賃借料は商店街活性化推進事業の60万に比べ賃借料は5倍強だ。バランスを欠く。特定業者優遇と言わざるを得ない。グランピングを含め今後の利用状況により賃借料を見直す考えがあるのか。

答 蚕糸跡地利活用事業の一環として本町で業者と協議の上策定したものである。従い産業振興課の所管で計上した。又グランピングや学VIVAの賃借料は見直す考えはない。

温暖化防止対策は

川名 静子 議員

問 2030年までに町内消費電力量の40%を再生可能エネルギーで賄う計画だ。町では太陽光発電、蓄電池システム、電気自動車等へ補助金を出し補正を組むほど町民の意識も変わってきた。目標を達成するのは太陽光発電が近道だ。しかし、太陽光発電パネルの廃棄方法が定まっていないうちでこれを進めるに迷いがある。地球温暖化の上昇は、人間のみならず農業分野にも影響を及ぼすことになる。太陽光発電プラス蓄電池を合わせ持ったコンパクトな設置や、我々ができる温暖化防止対策への考えを伺う。

答 パネルに留まらず蓄電池も有効な手立てだ。省エネに努めながら再エネの推進を共に進め一つひとつ地道な努力を重ね、新築の折に補助金のPRをする。

情報公開条例事務は猛省が必要

齋藤 松夫 議員

問 決算年度中に情報非公開が8件あった。一部、開示請求者から不服審査申し立てがなされ、これを審査した審査委員会から町に対する答申が行われた。その中の一部に「不開示決定は妥当ではない」旨の文言があった。情報公開に関する事務について猛省が必要と考えるがどうか。情報公開条例に基づいて対処している。

ふくしま田園中枢都市圏の成果は

石幡 政子 議員

問 ふくしま田園中枢都市圏は令和4年より設立され、令和6年度は2年目となるが、国からの財政支援の予算がついて各事業を実施してきたところだが、成果または反響について、どのように分析しているのか。また、桑折町の立ち位置についてはどの様に捉えているか伺う。

答 福島市を中心として県北地域の4市3町2村で構成する組織であり、職員のスキルアップを図りながら、広域的な連携をもって各自自治体の利便性と豊かな農村風景が共存する田園都市圏として地域のつながりや暮らしやすさを重視したまちづくりを実践することができた。また、町長は副会長を務めており、桑折町の政策実績を鑑みて、中心的なリーダーシップをとるべき立ち位置と自負している。

令和6年度 特別会計 総括質疑

高齢者への適切な対応を

川名 静子 議員

問 高齢化率38.1%になった令和6年度において、地域支援事業中のいきいき百歳体操、タブレットを使う脳トレ等事業に昨年より約22.3万円増の約54.3万円の予算が、介護認定へもたらす効果と課題の総括を伺う。また、男性の社会参加が少ない。生涯学習事業等を通して趣味の仲間づくりが重要ではないか。

答 高齢者になっても介護状態に陥らないための予防施策に重点を置く。団塊の世代が後期高齢に突入、サービス需要は高まると予測する。予防介護に重点を置きつつ、必要になった時はしっかりサービスを受受できる環境を整える。施設の人材不足、経営圧迫等が懸念材料だ。一人になっても仲間をつくる社会参加への一歩を踏み出して欲しい。

統合計画の前倒しを検討せよ

齋藤 松夫 議員

問 上水道事業と民営簡易水道の「統合計画」は、水道ビジョン並びに水道事業経営戦略をもとに進めているものと承知する。同戦略（見直し後）によれば、令和10年度内部留保資金残高は当初計画より64%増となっている。であれば、気候変動による災害対策の観点からも「統合計画」の前倒しを検討すべきでないか。決算年度での内部留保資金残高は当初計画に照らしどのような結果となったか伺う。

答 令和6年度決算の結果は、当初見込みの3.6倍の内部留保資金残高（減債積立金・建設改良積立金）となったが、老朽管更新もしなければならず、総合的に考えると、統合の前倒しとはいかない。

水没被災復旧町負担額は

齋藤 松夫 議員

問 流域下水道管理費だが、かつての台風時、終末処理場が水没被災を受けた。その際の復旧費用に多額の費用を要したとの答弁を受けている。これに係る桑折町の負担分はいかほど要したのか伺う。
答 復旧に係る桑折町負担額は総額6,600万円で、3年間起債を発行し、負担金の支払いは完了している。

認定

令和6年度 特別会計決算

種 別	項 目	歳 入	歳 出	差引残額
国民健康保険	決算額	1,266,932,859円	1,210,357,068円	56,575,791円
	概 要	収納率 98.3%	執行率 93.1%	全額翌年度繰越
後期高齢者医療	決算額	213,353,288円	212,116,471円	1,236,817円
	概 要	収納率 99.4%	執行率 98.8%	全額翌年度繰越
介護保険	決算額	1,799,763,410円	1,621,449,442円	178,313,968円
	概 要	収納率 97.3%	執行率 87.6%	全額翌年度繰越
半田財産区	決算額	3,274,986円	2,792,575円	482,411円
	概 要	収納率 99.9%	執行率 85.2%	全額翌年度繰越

※1（収納率）＝（実際に収入があった金額÷予定していた収入額）×100%
計画していた収入のどれだけが実際に得られたかを示す指標。
※2（執行率）＝（実際に支出した金額÷予定していた支出額）×100%
計画していた支出のどれだけが実際に使われたかを示す指標。

《事業会計》

水道事業会計決算

認定

水道事業	決算概要	収益的収支（税込）	資本的収支（税込）	剰余金処分（税抜）
	有収率は85.3%漏水調査実施、配水管漏水修繕工事により前年比3.1%増加した。	収入 378,416,771円 支出 305,375,780円	収入 11,440,000円 支出 100,899,659円 不足額 89,459,659円 は損益勘定保留資金等で補填	148,650,463円の内、建設改良積立金に51,061,187円を積立、残金を次年度に全額繰越

認定

下水道事業会計決算

下水道事業	決算概要	収益的収支（税込）	資本的収支（税込）	剰余金処分（税抜）
	水洗化人口4,632人、接続戸数1,791戸で人口水洗化率84.1%、総汚水量は401,867 m ³ となった。	収入 248,177,677円 支出 233,484,133円	収入 136,553,550円 支出 183,225,698円 不足額 46,672,148円 は消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補填	17,814,793円は次年度に繰越

承認

令和6年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和6年度未処分利益剰余金1億4,865万463円のうち、5,106万1,187円を建設改良積立金に積み立て、1,258万9,276円を資本金へ組入れることについて、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、議会の議決を求める。

条例制定

手話に関する基本理念、施策を推進する

◆議案第46号 桑折町手話言語条例

手話に関する基本理念及び施策の推進について定め、手話が言語であることの認識を共有し、全ての町民が共生することができる地域社会の実現に寄与する。

豊かな自然環境及と再生可能エネルギーとの調和を図る

◆議案第47号 桑折町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

本町の豊かな自然環境及び安全安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和を図るために必要な事項を定め、自然環境

等に配慮した再生可能エネルギーの利用を促進し、豊かで持続可能な地域社会の発展に寄与する。



条例改正

◆議案第48号 町税特別措置条例の一部改正

地域未来投資促進法に基づき固定資産税の課税免除となる対象期間の延長に伴う改正

◆議案第49号 公民館条例の一部改正

昨今の光熱費をはじめとした維持管理の増加、震災減免措置の在り方の見直し及び近隣の類似施設との均衡を踏まえ、公民館や体育施設等の使用料の適正化を図るための一部改正

◆議案第50号 桑折町下水道条例の一部改正

国の定める標準下水道条例の改正に伴う、災害その他の非常時の場合の排水設備等の工事の要件が追加されたための一部改正

◆議案第51号 給水条例の一部改正

水道事業においても、国からの通知により災害その他の非常時の場合の給水装置工事の要件整備が必要であるため所要の一部改正

町道の廃止

◆議案第52号 町道の廃止について

路線名	起 点	終 点	延長(m)	副員(m)
2112号線	桑折町字三角78から	桑折町字界35－1まで	327.4	3.4～2.0
2113号線	桑折町字界53－1から	桑折町字界19－1（左）まで	440.7	2.6～2.0

町道の認定

◆議案第53号 町道の認定について

路線名	起 点	終 点
2112号線	桑折町字三角78から	桑折町字蒲田23－1まで

同意

◆同意第2号 町教育委員会委員の任命

住所 桑折町大字南半田字六角
氏名 鈴木 キヨ子

報告

◆報告第4号 令和6年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について

監査委員の意見

いずれも適正に作成され是正改善を指摘すべき事項はない。

請願

◆インボイス制度廃止を求める意見書の提出についての請願

(請願者)

福島市五月町2－5
消費税廃止各界連合会
代表 服部 雅

(審査委員会)
総務文教常任委員会
(審査の結果)
不採択

◆消費税5%への減税を求める意見書の提出についての請願

(請願者)

福島市五月町2－5
消費税廃止各界連合会
代表 服部 雅

(審査委員会)
総務文教常任委員会
(審査の結果)
不採択

補正予算

◆議案第54号 令和7年度一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ6,097万円を追加し、予算総額66億4,146万円とする。

《主な歳入》

《主な歳出》

項 目	補正額	項 目	補正額
都市再生整備事業計画事業債	1,170万円	(仮称) 歴史観光交流センター実施設計委託料	1,100万円
公共施設等適正管理推進事業債	570万円	半田山自然公園バンガロー解体工事	642万円
前年度繰越金	1,853万円	伊達崎排水機場電気設備災害復旧事業	1,020万円
財政調整基金繰入金	1,637万円	醸芳幼稚園第2駐車場返還原型復旧工事	500万円
		農業後継者奨励金事業	300万円

◆議案第55号 介護保険特別会計（保険事業勘定）（第1号）

歳入歳出それぞれ1億1,771万円を追加し、予算総額17億9,994万円とする。

《主な歳入》

《主な歳出》

項 目	補正額	項 目	補正額
一般会計繰入金	64万円	職員手当等	64万円
前年度繰越金	1億1,707万円	償 還 金	8,281万円
		一般会計繰出金	3,426万円



臨時会

令和7年度 第4回 7月24日 開催

◆承認第2号 専決処分の承認を求めることについて

- 法人町民税の確定申告において、納税額確定に伴う前年度納税分の還付のため。既定の予算総額にそれぞれ550万円を追加し、予算総額を65億4,562万円とする。

歳 入		歳 出	
前年度繰越金	550万円	徴収事務費（還付金）	550万円

◆議案第43号 桑折町立醸芳保育所解体工事請負契約の締結について

1. 契約の目的
令和7年4月1日廃止の醸芳保育所解体のため
2. 契約金額
金 126,500,000円
(内消費税及び地方消費税額 金 11,500,000円)
3. 契約の方法
条件付一般競争入札
4. 契約の相手方
住所 福島県伊達郡桑折町大字上郡字楽10番地の12
氏名 国分木材工業株式会社 桑折支店
桑折支店長 吉 村 仁 一

◆議案第44号 一般会計補正予算（第4号）

既定の予算総額に3,487万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ65億8,049万円とする。

《歳 入》		《歳 出》		事 由
歳 入		歳 出		
地域介護福祉空間整備等 施設整備交付金	773万円	老人福祉事業	773万円	所得税及び定額減 税の実績額確定に 伴う不足額給付
地方創生臨時交付金	2,714万円	定額減税補足給付事業	2,714万円	介護施設非常用自 家発電設備整備事 業補助金

追加議案

◆選挙第1号

福島県伊達郡国見町・桑折町有北山組合議会議員選挙について

令和7年10月31日をもって任期満了となるので組合規約第5条第1項及び第2項の規定により、議会議員5名の選挙を行い次の者を当選人と決定した。

- ・選出議員

選挙区別	氏 名	住 所
第8	紺野 哲男	桑折町大字北半田字銀山東
	稲村 賢一	桑折町大字北半田字堀ノ内
第9	津田 健一	桑折町大字谷地字六丁目
	阿部 隆男	桑折町大字谷地字荒屋敷
第10	後藤 忠郎	桑折町大字伊達崎字中北沢

◆発委第3号 議会基本条例の一部を改正する条例

第11条・第20条を改正する。



提案理由の説明

討論一覧表

賛成	賛	議案等	反	対
道路を直す、体育館を直す。緊急性があると判断したことから賛成する。	羽根田ひとみ 議員	議案第54号 補正予算	齋藤松夫 議員	ハコモノありきの発想が問題 本補正予算案に歴史観光交流センター建設に係る委託料1,100万円が計上された。この歴史観光交流センターは、はじめにハコモノありきの発想で進められてきた。そのことは設計監理の段階に至っても、事業運営をどうするのが明らかでないところに現れている。よってこの点を理由に反対の態度をとる。
23年10月から導入。消費税を納税しない事業者はインボイスが発行できない仕組みな為、免税業者になっていた小規模事業者（年間売上1,000万円以下）は増税となる。制度導入後、消費税の申告納税者は100万件も増え制度導入による増税額は1人当たり13万円だ。零細事業者やフリーランス泣かせの制度は廃止を。	川村滋道 議員	請願第3号	川名静子 議員	「インボイス制度」については、制度の見直しを求める意見書を提出したがR5年10月に施行された。消費税納税において免税事業者と課税事業者の間にある不公平感を是正し、納税の公平性を確保する観点から必要である。「廃止」の場合事業者等の混乱を招くのでは。また、制度に代わる代替案、具体案も示されてない事だ。
今の物価上昇は多くの品目に及び、全ての人に負担である。すぐに治まる見通しもたたない。今物価対策として最も有効なのは、コメや電気代、ガソリン代などの個別対策に留まらず「全品目減税」となり所得税減税の様に低所得階層を含む「誰でも減税」となる。一時限りの給付金と違って有効だ。	川村滋道 議員	請願第4号	川名静子 議員	消費税は広く公平に誰もが負担する税である。その使い道も年金・医療・介護・子育て支援等の社会保障の財源として位置づけられている。今後ますます高齢社会となり社会保障の安定した財源を確保、維持させていかなければならない。従って「消費税5%への減税を求める意見書提出」には反対だ。
こども園が無事開園し、まなびばも利用しやすくなった。行政手続きのオンライン化やごみ減量化リサイクル事業を推進した。 また、桃購入の為、仙台近郊のみならず他県からたくさんの方が訪れたことは、シティープロモーションの成果であったと評価する。今度はこれを商業の発展につなげてゆくことを期待して賛成する。	羽根田ひとみ 議員	認定第1号 令和6年度 一般会計決算	齋藤松夫 議員	反対理由は6項目だ 理由は次の通り。①「総務課見解及び町長答弁」は、憲法93条に基づく二元代表制否定の政治姿勢だ。②公文書管理及び情報公開条例に基づく事務執行での誤りが表面化。③蚕糸跡地貸付料900万円・スーパー学習室借上料300万円はアンパランスだ。④小中学校あり方検討は町民に開かれておらず住民自治に反する。(以下略)
令和6年度は交付税や補助金確保により安定財源を確保し、限られた予算で課題解決と福祉向上を実現。子育て・教育では給食無償化やICT推進、産業振興では地元活用で経済循環強化、防災・基盤整備も計画的に進め、安全安心なまちづくりに寄与。以上、一般会計決算は認定に値すると評価し賛成する。	半沢正保 議員		齋藤 謙 議員	新公会計制度において、毎年インフラ施設に関して指摘を受けているが、依然として改善されていない。公共施設等総合管理計画及び行政改革大綱に基づき、効率的配置及び維持管理・運営を実現すること。加えて、経常収支比率は類似団体と比較しても高止まりとなっていることから、数値目標を明確にした上で改善を図ること。
R6年度歳出決算の執行率は94.7%だ。決算額66億5,254万円を住民生活の向上に自立の町として効果ある対応だったか調査した。各課の翌年度繰越額、不用額、流用等昨年より増額とはなっているが、問題とはならないと判断した。英知を結集し普段から徹底的に進行管理を行う事で改善されると考える事から一般会計決算を認める。	川名静子 議員			

一目でわかる 審議結果



結果報告はこちら

令和7年第4回桑折町議会臨時会（7月24日）

○賛否の分かれた議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

議員名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齋藤 謙	半澤 高	川名静子	議長	可否
議案名													
議案第43号	桑折町立釀芳保育所解体工事請負契約の締結について	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	－	可決

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて
議案第44号	令和7年度桑折町一般会計補正予算（第4号）

令和7年第5回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齋藤 謙	半澤 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	－	○	－	○	○	○	－

○賛否の分かれた議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

議員名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齋藤 謙	半澤 高	川名静子	議長	可否
議案名													
請願第3号	インボイス制度廃止を求める意見書の提出についての請願	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	－	不採択
請願第4号	消費税5%への減税を求める意見書の提出についての請願	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	－	不採択
認定第1号	令和6年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第54号	令和7年度桑折町一般会計補正予算（第5号）	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	－	可決

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者
認定第2号	令和6年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について
認定第3号	令和6年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号	令和6年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について
認定第5号	令和6年度桑折町半田財産区特別会計歳入歳出決算認定について
認定第6号	令和6年度桑折町水道事業会計決算認定について
認定第7号	令和6年度桑折町下水道事業会計決算認定について
議案第45号	令和6年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第46号	桑折町手話言語条例
議案第47号	桑折町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例
議案第48号	桑折町税特別措置条例の一部を改正する条例
議案第49号	桑折町公民館条例等の一部を改正する条例

議案名	討論者
議案第50号	桑折町下水道条例の一部を改正する条例
議案第51号	桑折町給水条例の一部を改正する条例
議案第52号	桑折町道路線の廃止について
議案第53号	桑折町道路線の認定について
議案第55号	令和7年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）
報告第4号	令和6年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について
同意第2号	桑折町教育委員会委員の任命について
選挙第1号	福島県伊達郡国見町・桑折町有北山組合議会議員選挙について
発委第3号	桑折町議会基本条例の一部を改正する条例
所管事務調査報告について	
桑折町議会議員の派遣について	
閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について	

※報告は採決なし



はん ざわ まさ やす
半沢 正保 議員

質問 ポジティブ教育で学力危機を救え

答弁 計画的実施し学力向上していく



ポジティブな心

答 教育長
英語教育や情報活用能力の育成など新しい時代に必要となる資質・能力の育成を強化していく。

答 「知・徳・体」のバランスの取れた教育を推進していく。

問 文科省が公表した全国学力・学習状況調査の結果を受け、町教委の指導力評価、読解力や思考力・表現力の低迷改善策、独自研修体制の見直しの意向を確認するとともに、「活力ある学力の高い町」を目指した具体的教育推進方策について町教委の考えを伺う。

問 学力の高い福井県では、ポジティブ教育（ポジティブ心理学の知見を学校教育に取り入れ、学力だけでなく「幸福感・強み・レジリエンス（回復力）」を育む教育アプローチです。）の研修に力を入れている。本町においても、早急に調査研究する考えがあるかを伺う。

これも 質問

問

答 学校司書・指導主事増員の財源確保を学力向上のため財源を確保し、教育環境を充実していく

質問 郷土愛育む次世代参加の町政に

答弁 子どもの声を聴く場の設定検討



生き抜く力を育む意見交換

問 総務省「人口動態調査結果」（令和7年1月1日現在）より日本人の人口が前年より約90万8千人減少。今後急激に人口減少していくことが想定されている。人口減少が加速する中、その対応の一つとして、次代を担う子どもたちの声を町政に反映する仕組みが不可欠である。現状では子どもの視点が十分活かされておらず、将来の地域参画意識を育みにくい状況にある。全国では子ども議会を通じて提案が行政に反映されており、本町においても、

答 町長
より多くの子どもたちと自由闊達に意見交換できる場が望ましい。今後、教育委員会と協議・調整していく。

一般質問 という名の 政策提案



9月定例会は議員9名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質問事項
はん ざわ まさ やす 半沢 正保	① 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について 2 読書活動の推進について ③ 「子ども議会」の必要性について
さい とう けん 斎藤 謙	① 学校のあり方検討委員会等に関して ② 新公会計制度（令和5年度）等に関して 3 財政運営等に関して
は ね だ ひとみ 羽根田 ひとみ	① 奨学金返済支援事業について 2 桃購入の方々への町のPR方法について ③ 自主的活動団体の広報・バックアップについて 4 西山城の景観と秋のイベントについて 5 歴史観光交流センターから町内への誘導について
す ず き たかし 鈴木 志隆	① 高齢者や障がい者のゴミ出し支援について 2 生成AIの業務活用について 3 桑折町第二次地域福祉計画について 4 桑折町成年後見制度利用促進計画について ⑤ エアコン購入等費用の補助金について
かわ な こ じ 川名 子静	① 地球温暖化はますます巨大化し命・くらしが脅かされている状況に関して ② 授業が楽しい・分かる子供たちを一人でも多く育てることに関して 3 プロポーザルの委託業者に任せるのか、町のねらいはどこにあるのか
はん ざわ たかし 半沢 高	1 7月20日投開票の第27回参議院議員通常選挙の投票率等について 2 コロナ禍からの再生について ③ 「こおりの小径」等の散策ルートの整備について ④ 聖光学院高等学校との包括連携協定について
かわ むら しみち 川村 道滋	① 桑折町教育行政に関連して ② 本町の生活保護行政に関連して 3 本町の保険診療に関連して 4 本町の災害時の行政対応について
さい とう まつ お 齋藤 松夫	1 桑折町情報公開条例に基づく事務について ② 議員の「質問権剥奪」につながる「総務課見解問題」について ③ 非核平和の町宣言と核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書（案）否決問題について 4 有害鳥獣対策、特に熊の出没対策強化等について
いし はた まさ こ 石幡 政子	① ごみ減量化対策の推進と課題について ② 再生可能エネルギーの推進と課題について 3 桑折町における学力向上の取り組みと今後の展望について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。



はねだ 羽根田 ひとみ 議員

質問 奨学金返済支援事業の導入を

答弁 今は実施の考えはないが研究する

問 日本学生支援機構の奨学金を利用している大学生は55%、専門学校生は55.3%である。現在、1,718自治体のうち816自治体が奨学金返済支援制度を実施しており、その取組のチラシは高校の進路指導室前にも掲示されている。学びたい意思のある若者が経済的理由だけで進学を断念することがあってはならないと思う。

答 返済に苦しむ若者をバックアップしては如何か。本町は給食無償化や制服支給を実施する先進的な町であり、移住・定住促進の観点からも導入を検討してはどうか。



若者をバックアップしよう

問 移住定住を目的とする場合、公金支出の公平性を欠くため、実施の考えはない。

答 国（内閣府・文科省）は制度を推進し、総務省も特別交付税措置を講じている。資料を渡すので再検討を願う。

問 文科省は制度を推進し、総務省も特別交付税措置を講じている。資料を渡すので再検討を願う。

答 町長 資料を参考に研究する。



さいとう 齊藤 謙 議員

質問 学校統合には地域住民の声を聴く

答弁 充実した教育の推進に努めていく



桑折町立釀芳小学校

問 学校あり方検討委員会を設置、住民説明会等を開催し検討しているが、適正規模、適正配置に関する基本的な考え方について、私は、1. 教育的視点、2. まちづくりの視点、3. 学校施設の適正化の視点、4. 地域との連携の視点に関して、教育長の考え方を伺う。

答 教育長 教育的視点は、適正化に関わらず、重要であると捉え、充実した教育の推進に努めている。

問 学校施設の適正化の視点では、町の財政状況が厳しくなることが予想される、どのような考えなのか。

答 教育長 学校施設については、経年劣化が進んでおり、「桑折町公共施設等総合管理計画」に基づき、望ましい教育環境を維持していく。

質問 地域魅力発信、町民参加型広報を

答弁 広報ホームページでコーナー開設



町内の魅力的な場所の一つ

問 広報こおりやホームページには、町主催事業のほか地域活動や自主的活動団体の取組も掲載されているが、まだ周知されていない活動や行事、魅力的な場所がある。これらを発信するため、町民が動画や写真を投稿できる窓口やSNSサイトを開設してはどうか。

答 町長 投稿には肖像権や真偽確認、不適切表現への対応といった懸念もあるが、町民参加型広報は有効であり、地域の新たな魅力発見・発信につながる。このため、広報やホームページに投稿コーナーを設ける方向で検討する。

質問 年々悪化する経常収支比率改善を

答弁 町民のために計画的インフラ整備

問 新公会計制度の目的と今後の統一的な基準とは何か、また、貸借対照表をどのように読み込むのか。

答 町長 新公会計制度については、単式簿記・現金主義から「複式簿記・発生主義」といった企業会計的要素を取り込む、見えにくい行政コストを把握するとともに、発生経費を含め分析・公表するために作成している。

問 統一的な基準について。

答 町長 総務省から示された、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務書類4表である。

問 毎年、同じ指摘を受けているが、なぜ、改善されないのか。

答 町長 公共施設の老朽化に起因する維持管理費の増加が大きな課題となっていることから、「公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施する。

これも質問

問 年々悪化している経常収支比率の改善を国・県等の補助金の積極的な活用

これも質問

問 桃購入にきた方へ、町内誘導の工夫を

答 両農協と連携し町の魅力PR強化をする

問 西山城の景観、半田山が見えるように文化庁へ許可申請し業者に見積もりをとる

答 歴史観光センターから商店街に誘導を誘導のため商工会と協力体制をとる



川名 静子 議員

質問 みんなで取り組む地球温暖化対策は

答弁 事業所の理解も得ながら進める

問 町長
リチウムイオン蓄電池への補助は94件、電気自動車へは1件だ。地中熱の効果は町民ロビィの冷暖房で年77・4%のカットだ。

答 町長
「自家消費」型への支援件数と役場の地中熱の効果は、

問 町長
R5年で10・6%だが全国を上回っている。

答 町長
2030年まで再エネで町内消費電力量の40%以上を生み出す方針だが計画通りか。

問 町長
今年は40度を超す日が各地で続き、頻繁に発生する線状降水帯による河川の氾濫、土砂崩れ等命を脅かす災害が起きた。本町の温暖化対策の進捗状況、私たちがすべき取組について伺う。

答 町長
具体的内容を定期的に周知が重要だ。

問 町長
ゴミ減量等の方が取り組み易いのでは。

答 町長
町HPへの掲載や企業訪問時に地球温暖化への理解、協力をお願いするが事業の内容から難しい。

問 町長
事業者・町民に対する計画は理解されているか。

答 町長
R3年比較で12・8%削減した。期目標は15%削減だが、

問 町長
役場の二酸化炭素排出量、今



電力の地産地消を目指して

これも質問

問 事業費約1千万円をかける楽市楽座の効果は関係・交流人口の拡大に繋がる町魅力をPR

質問 学力テストの結果から必要な力は

答弁 知識・理解力不足と読解力だ

答 教育長
授業の最後に振り返り時間を設定している。

問 教育長
授業が解れば好き、分かなければ嫌いとなる。友達に説明することも理解度チェックになるのでは。

答 教育長
数値は示せないが全科目とも下で、知識・理解不足と読解力が課題と捉えた。

問 町長
県と比較して本町はどうか。また、結果の分析から特に国語力で不足した力は何か。

答 町長
全国学力テストR7年の結果は、本県において全科目とも全国平均を下回った。授業が楽しい、分かる子供たちを一人でも多く育てる本町の取組を伺う。



鈴木 隆志 議員

質問 ゴミ出しが困難な世帯への対策は

答弁 地域コミュニティを図っていく



ゴミ出しのお手伝い

問 町長
「介護保険制度」「障害者総合支援法」等の要件を満たさず、ゴミ出し支援を受けることができない高齢者や障がい者でゴミ出しが困難な世帯に対しての対策について。

答 町長
町内会等々における共助、共に支え

問 町長
ゴミ出し支援に対する町の対応について伺う。

合う地域社会の創設が非常に大切であり、町の助成が有るか無しかに関わらず、大変な人を見かけたら率先して共に支え助け合う考え方を浸透させていく。今後の行政連絡員の会議、あるいは、自治協議会の会議の機会を捉えて、共に助け合うコミュニティの構築を図っていくことをしっかりと伝えていきたい。

質問 エアコン等の購入費用補助は

答弁 財政上の問題で実施は難しい

答 町長
財政的に余裕

問 町長
いわき市の事業について調査してみたいと思っている。

答 町長
非課税世帯の中には、物価高騰で電気代を考えエアコン使用を控えている世帯もあると考えられる電気代補助の考え

問 町長
地球温暖化における熱中症対策として65歳以上の高齢者のみの町民税非課税世帯に対する補助金について。

答 町長
いわき市で同様の購入の補助金を支給している、当町の考え

問 町長
スポットクーラーレンタル費用に対する町補助金支給の考えは。

答 町長
財政上それぞれの分野に限られた財源をバランス良く配置しながら今後も住み続けたい町を創っていきたいと考えているのでご理解願いたい。

これも質問

問 生成AIをどのように業務に活用しているか
答 生成AIガイドラインに基づき活用している
問 第二次地域福祉計画作成、町民意見の反映はアンケート調査を踏まえ政策に盛り込んだ
答 アンケート調査を踏まえ政策に盛り込んだ
問 成年後見制度理解促進に向けての町民対応は
答 リーフレット・出前講座を通じて促進させる



かわむらしげみち
川村 滋道 議員

質問 小中学校のあり方と教員の働き方

答弁 10月に提言、実施計画を検討中

問

文科省が
いわゆる働

答

教育長
方針決定
後に説明会検討す

問

町民合意
が必要。方

答

教育長
町の政策

問

提言は10
月にします。

答

教育長
近隣にある最

問

本県には近隣
の飯野や月館の



統廃合が検討されている伊達崎小学校

答

教育長
近隣にある最

答

業務量管理、
健康確保措置実施計画

き方改革として「給特
法等改正」を決めた。
本町の職員の勤務状況
にどのような影響や変
化があるのか伺う。

質問 聖光学院との協定どう進めるのか

答弁 定期的に協議し実効性確保したい



はんざわ
半澤 高 議員

問

町は、8月20
日に聖光学院高

答

町長
協定について

は、聖光学院高等学校
における探究授業の一



桑折町にある聖光学院の野球場と第二校舎

環として、町の魅力発
信、観光資源の掘り起
こし、スポーツ体験授
業への講師派遣、地元
企業と連携した職場見
学、町のイベントや福
祉事業への協力などを
想定しており、今後も
引き続き定期的な協議
の場を設けて実効性を
確保していきたい。

質問 生活保護行政について伺う

答弁 相談には丁寧に対応している

これも質問

問
答

本町の保険診療に関して保険証の扱いは
該当者全員に資格確認証を送付している
障害を持つ方の避難については
福祉避難所に優先的に誘導するように対応

答

町長
議員お質しの

答

町長
状況により県北保険事

外国人は生活
保護法に基づく
受給権を持たないとの
指摘があるが「行政措
置による事実上の保護
の対象となり得る」と
も言及しており通知に
よる保護の支給を否定
していません。厚労省
は、外国人への生活保
護支給は違法でも何で
もなく、国が昔から今
に至るまで行ってきた
事で適法としていま
す。如何か。

問

外国人は生活
保護法に基づく

問

「特別な事情」
があるときに

質問 「こおりの小径」の整備計画は

答弁 歴史観光交流センター起点に整備

これも質問

問
答

選挙の開票作業の迅速化を
機器点検、作業手順の確認を徹底する
コロナ禍からの再生は進んでいるのか
コロナ禍前の状況を着実に取り戻している

問

桑折町都市計
画マスタープラ

答

町長
「こおりの小

ンでは「こおりの小
径」等の散策ルートの
整備について言及して
いるが、「こおりの小
径」5つのルート（歴
史、自然、果物、語ら
い、いにしえ）それぞ
れの今後の整備計画等
について伺う。

「こおりの小
径」については、約20
年前に散策を目的に5
つのルートを選定し整
備してきたが、現在、
歴史の小径・自然の小
径を除く3ルートにつ
いては、ほぼ利用され
ていないことから今後
は、あらたに整備する
「仮称」歴史観光交流
センター」を起点とし
た、新たな散策・ドラ
イブルートを選定し、
町の恵まれた歴史遺産
や自然の紹介に努め来
訪者の町内周遊を図っ
ていきたい。



いし はた まさ こ
石幡 政子 議員

質問 硬プラスチックのリサイクルは

答弁 早期実現に向けて検討している



硬プラスチックも資源です

問 本町のごみ減量化に関する取り組みについて次の点について伺う。

答 本町にあつては収集日を変更しての紙類の回収や、町主体の衣類回収を実施してきたところである。その中でも、硬プラスチックのリサイクルについては現状では実現が難しいようだが、今後の課題として、本町においてはどの様に取り組む考えなのか伺う。

町長 硬プラスチック類については、令和4年に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、減量化防止やCO₂排出削減を進めるため、リサイクルが努力義務となった。関係機関と連携し早期の実現に向け検討している。

これも質問

問
答

学習にAードリルを使用する効果は生徒が主体的な学習を確立できる

質問 メガソーラー建設を阻止する考えは

答弁 自然環境との調和を図る条例を上程した

町長 本町としては、再生エネルギーの利用促進を推進する必要があるものの、恵まれた自然環境や伝統ある歴史的・文化的景観等を損なうことがあってはならないと考える。このため、豊かな自然環境及と再生可能

問 クリーンエネルギーの「太陽光パネル」に関して、本町においては補助金等で支援し推進を図っている。しかし、一方では、環境破壊ではないか等多くの問題が指摘されている。桑折町は環境破壊を伴うメガソーラー設置建設を阻止するという自治体の立場を示すべきではないかと考えるがいかがか。



こおりの豊かな自然を守る

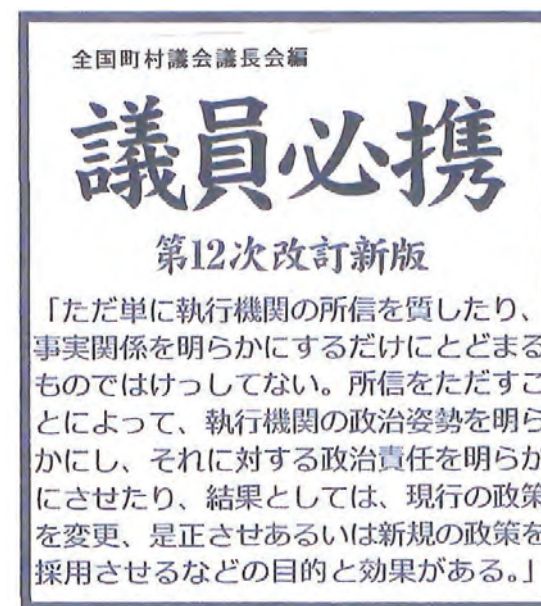
エネルギー発電との調和を図るために必要な事項を定め、豊かで持続可能な地域社会の発展に寄与することを目的とした条例を今定例会に上程した。



さい どう まつ お
齋藤 松夫 議員

質問 総務課見解を修正したのか否か

答弁 見解は変わっていない



「質問の目的と効果とは」の解説です

問 蚕糸跡地利用事業についての質問で、「既議決事項否定の質問はふさわしくない論」が、「総務課見解及び町長答弁」で示されてきた。しかし県議長会も「問題ない」とのことだ。全国町村議長会発行の「議員必携」ではその理論的根拠が明確だ。

町長 同見解は6回にわたり議会宛示されたが、去る6月定例会総括文書にはそれがなかった。これは「総務課見解」の修正か否かを伺う。

答 既議決事項を否定する質問等は、他議員の意思を否定するのでふさわしくない」との考えに変わりはない。

質問 核禁条約意見書否決への見解は

答弁 二元代表制の立場で所見述べぬ

町長 6月定例会で「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書（案）」が否決となり、核廃絶めざす「非核平和の町宣言」と相容れない結果が生じた。このことへの所見を伺う。今年戦争後80年で、不戦と非核への思いが広がっているときだ。「非核平和の町」宣言に基づき、広島・長崎への生徒派遣事業も10年目となった。この機会にこれを記念する事業を企画してはどうか。

町長 意見書否決について所見は述べぬ。「非核平和の町宣言」は核兵器の廃絶と恒久平和の実現を希求するもの。平成26年度から広島・長崎の平和記念式典に小学生を参加させてきたのも平和の尊さについての思いを共有するためだ。「非核宣言自治体協議会」のホームページでこれが紹介され、思いが全世界に届けられた。記念行事については検討してみたい。

これも質問

問
答

情報公開で町民の知る権利を保障せよ
条例の目的に沿って執行
熊出沒に有害鳥獣対策の抜本的強化で備えよ
長距離無線捕獲パトロールなどで対策強化中

議会活動報告

桑折町・国見町・川俣町 3 町議会議員が一堂に会し、県への要望事項を決議するとともに、議員としてのあり方について研修した。

第20回伊達郡町議会議員大会

日 時 令和 7 年 7 月 25 日 (金) 午後 3 時
場 所 川俣町役場 3 階 大会議室
出席議員 11 名
内 容 1

各町議会提出要望事項・決議

桑折町議会による要望事項の提案

- 1 主要地方道浪江国見線に架かる「伊達崎橋」の早期復旧実現（県による歩道整備事業の計画と一体となつて、新たに「歩道整備」も行うこと）
- 2 主要地方道浪江国見線、一般県道保原伊達崎桑折線及び一般県道国見福島線の利用者の安全確保（道路拡幅、歩道設置など、利用者の安全確保を）
- 3 地域医療の確保（常勤医師及び全体的に不足している看護師の確保について県の支援を強く要望、桑折・国見議会提出）



説明者 佐藤武朗議員



万歳三唱 川名静子副議長

講演会

日時場所 午後 4 時 30 分～ 川俣町役場 3 階 大会議室
出席議員 8 名
内 容 2

演題 「地方議会におけるハラスメント防止に向けた取組：最近の事例を中心に」

講師 福島大学経済経営学類教授 吉高神 明先生

○議会におけるハラスメント最近の事例

福島県内 会津美里町 西会津町 白河市

○首長等や議員によるハラスメントに関する条例制定

令和 7 年 6 月 30 日時点、121 団体が 127 条例を制定

○地方議会におけるハラスメント防止の法体系

地方議会議員を対象とする

実効的な法律が不在

ハラスメント事案が発生して

から条例を制定するのでは

なく、ハラスメント発生を未

然に防止する目的で条例を制

定（金山町議会）

講演後、早急に条例制定に

取り組むことが大切とアドバ

イスをいただいた。



講師 吉高神 明
（きっこうじん あきら）先生

よりよい「議会だより」の編集方法等について県内町村議会の広報担当者が集まり研修を深めた。さらには、「こおりまち議会だより VOL.140 春号」もクリニックを希望し講師の先生から全体の前で詳細についてご助言をいただくことができた。

福島県町村議会議長会 広報研修会

日 時 令和 7 年 7 月 1 日 (火) 午後 1 時
場 所 郡山市ビッグパレットふくしま 1 F コンベンションホール
出席議員 議長 原 賢志 委員長 半沢正保 委員 石幡政子 委員 羽根田ひとみ
演題 講師 演題 「戦略的広報と議会報づくりの型」
講師 一般社団法人自治体広報広聴研究所

代表理事・広報アドバイザー 金井 茂樹 先生

内 容 1

○広報広聴の目的と意義

- ・目的 情報の受け手の意識・行動変容
知る→関心→理解→
納得→行動する
- ・広報：地域住民
- ・広聴：議会、議員、
首長、職員

○戦略的広報

- ・目的・プロセス
- ・誰に、何を伝えて、どうなってほしいのか。

議会だより作成の目的を明確にすることの大切さとそれを踏まえた企画、編集の具体的なあり方について詳しくご指導いただいた。



最前列に着座した広報関係議員

内 容 2

桑折町、南会津町、只見町、猪苗代町、塙町、石川町、古殿町、広野町、富岡町の議会だよりのクリニック

本町の議会だよりについて

1 表紙 文字色落ちついた

トーン及び表示 良

2 施政方針とは何かを

リード文で説明があっても

よい

3 タイトルを強調すべき

4 討論 リード文で用語を

説明するとよい

5 野線の太さの使い分けな

ど、24 項目についてアド

バイスをいただいた。

これからの議会だより編集に

活かしていきたい。



議会だより
VOL.140 春号

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉 藤 謙

総務委員会は学校のあり方検討委員会総務文教の調査事件に関して、会議を開催したが、8 月は担当課長との日程調整つかず、開催できず、あり方検討委員会の詳細について聞けず、教育文化課長と日程調整の結果 9 月にずれ込む。

総務委員会では、統合ありきではなく、あくまでも地域の方々の意向を充分尊重する。また、あり方検討委員会の結果を会議録などを公表する等また取り纏めを 12 月まで報告する。

産業厚生常任委員会

委員長 佐 藤 武 朗

本委員会は、「女性が働きやすいまちづくり」を調査事件とし、第 2 期子ども・子育て支援事業計画の推進と、厚生分野の視座から一時預かり事業の新設について調査してきた。調査の内容は、「桑折町子育て支援センター」及び「こおり青空こども園子育て支援センター」を視察し運営状況について質疑を行った。また、「日本一女性が働きやすいまち宣言」を掲げる山形県酒田市の行政視察を実施し市役所での担当課の説明、および、NPO 法人が運営している施設も訪問し質疑を行った。（報告書は議会ホームページに掲載）

今後の調査事件としては、「伊達桑折 IC 周辺の農地利用における町農産物の知名度向上と交流人口拡大に関する」調査を実施する。調査理由としては、IC 周辺の農地を、町農産物ブランドを核とした体験型施設や、産学官連携による発信拠点の導入事例等を視察し、IC 周辺農地の有効利用を通じて町農産物の知名度向上と交流人口拡大を図る方策を検討するため調査を行う。



調査報告書へ

行政視察報告

7 月 17 日、山形県酒田市を訪問し、同市が展開する「一時預かり保育」「ファミリー・サポート・センター」「NPO 法人にこっと」「病児・病後児保育における送迎・受診付添いサービス」について、市役所で説明を受けた。また、「NPO 法人にこっと」の活動現場も訪問した。酒田市は、女性が働きやすいまちづくりを市政の柱の一つとして掲げ、保育・福祉・就労を切れ目なく支援する体制を整備している。特に保護者が緊急時や短時間就労などで利用できる一時預かり保育は複数の施設形態で運営されており、利便性が非

常に高い。

この事業は長年続けられており、担当課と運営をされている方々との信頼関係が深く、事細かな連携があることに感心した。



酒田市役所会議室

広報広聴常任委員会

委員長 半 沢 正 保

1 「議会だより」表記などの改善を

福島県町村議会議長会主催の広報研修会において、本町議会だよりについてご指導いただき、これからの編集方法を改善していく。（詳細 p 23 参照）

議会報告・意見交換会のあり方について、下記のように検討してきた。

2 「議会報告・意見交換会」の充実を

目 的 町民ファーストの魅力ある議会・議員の姿の追求

改善点 開催の時期および時間帯の検討
意見交換をテーマを設定し、話し合い内容の検討
「高齢化への対応について」、「子育て支援のあり方について」、「大規模店進出への対応策について」、「少子化対応、小中学校のあり方について」などのテーマを設定しての話し合い

議会運営委員会

委員長 半 澤 高

議会運営委員会では、閉会中の所掌事務調査事項である「議会基本条例第 20 条に基づく検証」の調査をもとに、今定例会にて議会基本条例の改正を行った。改正点は、次の 2 つである。①本条例の検証（条例の目的が達成されているか）を 2 年に一度とするため第 20 条を改正する。②「政務活動費」に関する条項を加える。①に関しては、これまでは改選後すぐに本条例の検証を行い改選後の 4 年間の議会活動に役立

てていたが、先進議会の例にならい議会基本条例を各議員が条項ごとに「チェックシート」を用いて評価し、議会運営委員会にてまとめるという方法をとる。さらには、4 年に一度から 2 年に一度の検証をするとしたもの。②は基本条例制定時に本議会にて制度化していなかった「政務活動費」について今回、第 6 章第 11 条に加えたもの。



議会活動状況報告書

令和7年6月18日～令和7年9月18日（全議員対象のみ掲載、詳細は二次元コードよりご覧いただけます）

月 日	活 動 状 況	内 容
R 7. 7. 3	議会全員協議会	○歴史観光交流センター基本設計について ○6月定例会の総括について
R 7. 7. 10	政務調査会視察研修	○県北浄化センター ○すりかみ浄水場
R 7. 7. 24	議会全員協議会	○令和7年第4回桑折町議会臨時会の議事日程等について ○提案内容の説明
R 7. 7. 24	令和7年第4回桑折町議会臨時会	○承認1件、契約の締結1件、補正予算1件審議採決
R 7. 7. 25	第20回伊達郡町議会議員大会	○大会、講演会、交流会
R 7. 8. 19	議会全員協議会	○歴史観光交流センター基本設計概要について
R 7. 9. 3	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会の議事日程等について ○提案内容の説明
R 7. 9. 3	令和7年第5回桑折町議会定例会	○会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政報告、町長提案理由の説明、補正予算説明、決算認定総括説明、健全化判断比率・資金不足比率報告、決算審査結果報告、継続審査報告
R 7. 9. 4	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第2日）の議事日程等について
R 7. 9. 4	令和7年第5回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）
R 7. 9. 5	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第3日）の議事日程等について
R 7. 9. 5	令和7年第5回桑折町議会定例会	○一般質問（4名）
R 7. 9. 9	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第7日）の議事日程等について
R 7. 9. 9	令和7年第5回桑折町議会定例会	○条例制定2件、条例改正4件、補正予算2件、同意1件審議採決 ○決算認定所管別説明
R 7. 9. 11	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第9日）の議事日程等について
R 7. 9. 11	令和7年第5回桑折町議会定例会	○令和6年度決算認定所管別質疑（総務文教常任委員会所管）
R 7. 9. 16	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第14日）の議事日程等について
R 7. 9. 16	令和7年第5回桑折町議会定例会	○令和6年度決算認定所管別質疑（産業厚生常任委員会所管）
R 7. 9. 17	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第15日）の議事日程等について
R 7. 9. 17	令和7年第5回桑折町議会定例会	○令和6年度一般会計決算認定 総括質疑、討論採決
R 7. 9. 18	議会全員協議会	○令和7年第5回桑折町議会定例会（第16日）の議事日程等について
R 7. 9. 18	令和7年第5回桑折町議会定例会	○令和6年度特別会計・水道事業会計・下水道事業会計決算認定 総括質疑、討論採決、水道事業剰余金の処分審議採決 ○追加議案審議採決

令和6年度 議会費決算概要

議員報酬及び期末手当	45,858,658円
共済組合費負担金（年金分）※制度改正により現議員は対象外	9,884,160円
職員人件費	17,902,638円
需用費（議会だより印刷製本費外）	2,083,532円
その他（旅費、交際費、使用料、負担金等）	5,682,316円
計	81,411,304円

桑折町民のライフラインである上下水道の安全確保が適正に行われているのか現場確認してきた。

令和7年1月に八潮市内の交差点内において、下水道管の破損に起因すると思われる陥没による死亡事故が発生、下水道管に関連する事故であったことから、桑折町に関連する上下水道の設備等を視察することとした。

桑折町議会政務調査会視察研修

視 察	下水道施設視察
名 称	（公財）福島県下水道公社 県北浄化センター
場 所	国見町大字徳江字上悪戸46番地の1
日 時	令和7年7月10日（木）10：00～11：30

主な説明内容

関連市町 福島市、伊達市、桑折町、国見町

桑折町の下水道事業は、昭和63年に着手して以来、今日まで約37年間にわたり整備を進めてきた。

管の全長、約56km、管渠（管の直径400mm～1,650mm）大きな管でないため安全。

1日6万8千㎡（プール150杯相当）の下水を処理。

汚れた水を綺麗にする微生物のために大量の空気を吹き込みかき混ぜる処理等のため、1日あたり1万7千kWhの電力を使用。（1ヶ月の電気代700万～800万円）

ま と め

桑折町の公共下水道は、県北浄化センターを通じて地域の生活排水を適正に処理し、阿武隈川水質保全に寄与している。現在の処理能力は日常利用に十分対応しており、法定基準を満たす放流水質を確保している。下水管については、定期点検・清掃を実施し、老朽化箇所は順次更新計画を進めている。耐震性や漏水防止の観点からも安全性は概ね確保されており、町民生活の安心と衛生環境の維持に資する体制が整っている。

担当者ヘインタビュー

「下水道事業の今後の課題は何ですか？」

全国的な問題でもあるが、「ヒト・モノ・カネ」が深刻である。

ヒト→技術者が高齢化の為人材不足である。採用活動をしているが応募が無い。

モノ→施設・機材等が古くなってきている。

カネ→40万人の計画で施設を建設したが、現在20万人。今後の人口減少を考えると下水道料金を上げないと運営が厳しくなっていく。



下水道事業の説明



下水道現場での説明

視 察	浄水場視察
名 称	福島地方水道用水供給企業団すりかみ浄水場
場 所	福島市飯坂町字沼ノ上1番地の1
日 時	令和7年7月10日（木）14：00～15：30

主な内容

○新たな水道の誕生（DVD 視聴）

○浄水施設視察（すりかみ浄水場における安全安心な水の安定供給の取組）

2階パネル→中央監視室→薬品混和池→薬品沈殿池→中塩素混和池→急速ろ過池→水質監視槽

ま と め

すりかみ浄水場は、福島地方水道用水供給企業団により運営され、「安全でおいしい水を安定的に供給する」ことを基本方針とし、原水から浄水まで水質管理を徹底し、水道法に基づく検査項目を通常基準の約4倍（約200項目）で実施。浄水処理中の放射性物質も含め、基準を超える検出はなく、配水区の末端でも毎月給水栓から水質検査を行っており、色・濁り・残留塩素などの項目は毎日確認している。施設の耐震化や幹線管の強化も進めており、災害時の応急給水体制・復旧計画も整備済み。運営面では経営改革に注力しつつ、コストと安全性のバランスをとりながら供給体制の維持・向上に努めている。

担当者ヘインタビュー

「すりかみ浄水場の今後の課題は何ですか？」

今年度からマスタープラン計画を立てた。

将来のモデル、目標のもと持続可能な経営をすること。総額1,600億円のうち半分の800億円はダムの維持にかかる。

今後70～80年先を考えると、人口減少の影響は深刻。

現在1日11万トンの水量だが、4割減となり、1日5万トンの水量となったときダムの必要性も問題視される。



浄水場事業の説明



浄水場内施設

あなたの声



町を動かす

令和7年度 第2回 桑折町議会報告・意見交換会 開催のご案内

今回は、各地区ごと4つの会場で下記のとおり開催いたします。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1 日時・場所

桑折地区	睦合地区	半田地区	伊達崎地区
日時 11月4日(火) 18:30~19:30	日時 11月5日(水) 18:30~19:30	日時 11月6日(木) 18:30~19:30	日時 11月7日(金) 18:30~19:30
場所 桑折公民館	場所 睦合公民館	場所 半田公民館	場所 伊達崎公民館

2 主な内容

- (1) 議会活動状況、予算、決算等の審議状況の報告
- (2) 「空き家対策、防災減災、有害鳥獣対策」をテーマとして意見交換

3 持参物

議会だより
vol.142
秋号



編集後記

第46回大字谷地豊年盆踊り大会。8月になると、子どもたちが親と一緒に太鼓練習に訪れる。田んぼに囲まれた屯所にはカエルの声が響き、実にのどかだ。恒例の仮装大会では、工夫を凝らした作品が登場するたびに会場が笑顔の渦に包まれる。我が家の子どもたちも夏休みに入ると、「今年は何をしようか」と話し合ったことを思い出す。

盆踊りは、家族だけでなく地域の絆を深める大切な機会でもある。世代を超えて一緒に盛り上げられることは、本当に素敵なことだ。きっと亡くなった人々も、お墓の中で喜んでくれているに違いない。改めて、盆踊りを立ち上げてくださった歴代青年部の皆さん、そして今を担う現青年部の皆さんに心より感謝申し上げたい。

そして、この大切な思い出を、子どもたちが未来へと引き継いでくれることを願っている。

羽根田ひとみ

まちの歳時記

谷地豊年盆踊り大会



● 広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢正保 副委員長 石幡政子
委員 齋藤松夫 委員 羽根田ひとみ

こおりまち
議会だより

令和7年10月15日発行
発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会
電話 024(582)2113
印刷 陽光社印刷株式会社